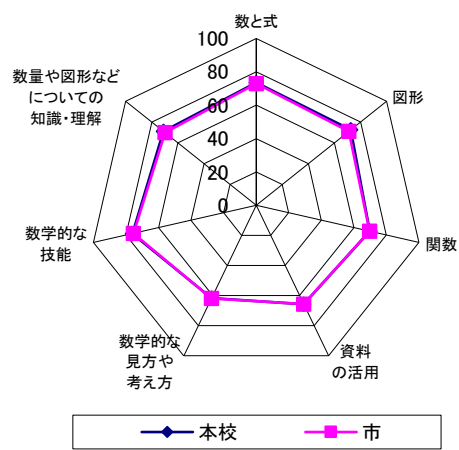


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	73.6	73.0	67.5
	図形	72.6	71.1	59.5
	関数	69.8	69.7	60.0
	資料の活用	65.8	65.6	58.5
観点別	数学的な見方や考え方	61.7	61.8	49.6
	数学的な技能	76.0	75.4	68.9
	数量や図形などについての知識・理解	71.0	69.8	62.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は、0.6ポイント上回っている。 ○1,2年生での既習事項については、ほぼ全問で市平均を上回っている。 ●3年生の乗法公式、因数分解に関する設問では市平均正答率を3.0～6.0ポイント下回っている。	・乗法公式、因数分解は、休校期間に大きく影響を受けた単元である。学習意欲と定着度には相関関係があり、それが顕著に表れた結果といえる。 補習等でさらなる定着を図る。
図形	平均正答率は、証明の必要性を問う問題以外で市平均を上回っており、領域全体では1.5ポイント上回っている。 ○平面図形に関する問題では、どの問題も市平均正答率を約4.0ポイント上回っている。 ●証明の必要性を問う問題では、正答率は59.29%と、他の問題と比べ、市平均正答率も低いが本校はさらに2.8ポイント下回っている。	・図形の基本的な性質は、よく理解している生徒が多い。今後は、それを活用する場面を授業の中で数多く取り入れ、図形の問題について多面的な見方ができる力を身に付けていく。 ・証明に関しては多くの生徒が苦手としている分野であるが、数学の醍醐味である論理的思考の楽しさと、有用性を感じられる授業展開を模索し苦手意識をなくしていく。
関数	平均正答率は、市平均とほぼ変わらない状況である。 ○1次関数の利用の問題では、市の平均正答率を8.3ポイント上回っている。 ●比例の関係で式とグラフを関連づける問題では、市平均正答率を2.3ポイント下回っている。	・どの関数でも、xとyの関係を式で表したりグラフに表したりする力は、おおむね身につけている。ただ、それを関連付けて考える問題が苦手な生徒が多い。そのため、関数の単元の後半に十分に問題演習の時間を確保し、多くのパターンの問題に慣れるようにする。また、図形との融合問題も多くあるため、関数だけでなく図形の単元の際にも、問題演習を取り入れ、考え方に慣れるようにしていく。
資料の活用	平均正答率は、市平均とほぼ変わらない状況である。 ○度数分布から7平均値を求める問題では市平均を8.5ポイント上回っている。 ●代表値やヒストグラムから集団の傾向を読み取る問題では、市平均を3.9ポイント下回った。	・相対度数、平均値、中央値、最頻値、範囲などの言葉を利用して、資料の特徴を説明する問題なども取り入れ、用語の意味の理解を深めていく。 ・確率の問題では、順番が関係する場合、組み合わせを考えればよい場合にしっかり分けて考えられるよう、様々な問題場면을授業の中で取り入れていく。